

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	放課後等デイサービス こはくのひろば	公表日	2025年 12月 20日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100	0	壁面窓側を使って季節を感じられるようにしているところや、掃除がしっかりいきとどいていて清潔感があるところは善いと思う。	ミニ本棚があればよい。
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	87.5	12.5	当日利用者の人数だけでなく重症度や行動によって配置人数を調整している。	他の職員が看護師さんのフォローできるように（保護者連絡記録など）
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	87.5	12.5		生活空間はとても良いと思うが、バリアフリーになってる玄関から部屋にあがるところのコンクリの角が、もしこけた時に、角に当たると危険。現時点、こけたり怪我はないで、ひき続き、見守りていきたい。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	100	0	スヌーズレンのスペースがある。子ども達が、大好きである。 子供たちが、楽しめる空間になっている。	事務所トイレ近くの、車椅子やウォーカーなどしまう場所があれば、あればよいなと思う。
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	87.5	12.5	部屋がわかかれているので、宿題する際は個室使用したり、静と動にわかれで過ごすスペースも確保されていると思う。 個室や複数の部屋があり使いわけができる。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	87.5	12.5		目標設定をしっかりと頭に、おいて支援できていない時がある。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100	0	子供たちの様子を、しっかり保護者に伝えられているように思う。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100	0	定期的に会議開催している。 子供たちのために、こうしたほうがよいと情報共有できていると思う。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	50	50		外部評価はまだちょっとわからない。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100	0	1人1人の資質が高い。その個性がでている。	
適切	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100	0	子供たちのニーズに合わせて、楽しめる活動や心落ち着いて過ごせる場所の提供がなされていると思う。	
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100	0	短期と長期の目標が設定してあり、それに基づく計画立案が出来ている。	
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100	0	子供たちの様子どうだったとか情報共有ができてているように思う。	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	87.5	12.5		もう少し計画書がどの職員も見れるようにすればよいかも。計画にそった支援が、抜けてしまっていることがある。
	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	87.5	12.5		できていないときもある。
適切	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」と「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100	0	家族支援など、保護者様への情報提供は手厚いと思う。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	87.5	12.5		週案はできているが、当日慌てるときもある。

な 支 援 の 提 供	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100	0	週ごとにプログラムを変えている	
	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100	0	個別で対応する方がよい場合と、お祭りやキャンプ、体験活動、音楽療法等一緒にする活動も作成している。	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	87.5	12.5		細かいところまで、役割分担できていない時もあり、自分はどう動くべきかを、考えていきたい。
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	62.5	37.5	終了後にスタッフが揃うのは難しいが、日々の勤務の中でスタッフ間で共有したり、連絡帳で振りかえるなど出来ていると思う。 終了後は、打ち合わせは厳しそうなので、次の日の始まりで行うのがベストだと思う。	
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	87.5	12.5	記録をとることの徹底、支援の検証は、時間的にも難しいが、改善にむけては、その都度、話合いはできていると思う。	
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100	0		
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	100	0		
	25 子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100	0	発語が難しい児童などには、声掛けの際の表情や、身体の緊張、動作などで判断したりと、個々に細やかに声かけが出来、個人の意思を尊重出来ているとおもう。重心の子でも小さな選択ができるように工夫している。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100	0		
	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	87.5	12.5		
	28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100	0		
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	87.5	12.5		
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	100	0		
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	100	0		
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	75	25	地域の行事に参加したり、高校生のファッショントレーニングのモデルをするなど、交流出来ている。	地域行事に参加する程度で、なかなか一緒に活動がむずかしい
	33 （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	100	0		
	34 曰頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100	0	送迎の際などにご家族とコミュニケーションをとることが出来ている。	
	35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレン特訓等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	75	25	保護者へ研修の案内を出している。	
	36 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100	0		
	37 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100	0		

保護者への説明等	38 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100	0		
	39 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100	0		
	40 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	87.5	12.5	行事にきょうだいが参加できるように工夫している。	
	41 こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100	0		
	42 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	87.5	12.5	Instagramの投稿では、日々の活動や様子が良くわかる	
	43 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100	0		
	44 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100	0	連絡帳や送迎のタイミングで必ず保護者とやり取りできるようにしている。	
	45 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	62.5	37.5		地域の方を招待するイベントは今年度なかった。
	46 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100	0		
非常時等の対応	47 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100	0		
	48 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100	0		
	49 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100	0		
	50 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100	0		
	51 こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100	0		
	52 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100	0		
	53 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100	0		
	54 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	87.5	12.5		